

早稲田大学人間科学部の学生が地域外の視点で地域を分析し、発表会を開催

< 三重県 >

市町村・集落の名称	大台町全域
協働の相手（企業や大学等）の名称	早稲田大学人間科学部環境管理計画学研究室
仲介者・コーディネーターの名称	三重大学 松村 大台町役場 宮川総合支所 産業室 谷・野呂
協働のポイント	学生の学びの場としてだけでなく、受け入れ側の当町にもある程度のメリットを見出すこと
協働のきっかけ・経緯	平成17年：当学研究室の天野教授からの打診で三重大学松村教授より当時宮川村役場を紹介
取組の具体的な内容	農林業・移住・観光などグループ別に町民を対象としたインタビューを経て、まとめとして学生からの発表会を開催する。この発表会は、オープン参加。 近年は、当町を題材に、卒論を作成する学生、院生となり長期滞在し研究する学生などへの展開も始まっている。
農村地域への効果	地域外から見た眼・視点により発表されるので、地域の在り方・組織の在り方など多岐に渡る切り口で当町を分析頂いている。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	机上の学びでなく、現地で学ぶことで現状と問題を五感で感じ、上記のような学生が育成されていることにも効果は大きいと感じている。
仲介者等の役割	学生の想いと集落の想いを結びつけること。円滑に調査が進むこと。
今後の課題	継続性と調査結果を活かすこと。
関連事業（国・都道府県等）	なし